

2006年7月11日 施行

2016年3月10日 一部改正

立教大学臨床心理学研究編集委員会

立教大学臨床心理学研究編集事務局

(Tel: 048-471-6730 E-mail: shinri-soudan@grp.rikkyo.ne.jp)

『立教大学臨床心理学研究』論文投稿規定

1. 論文の内容

立教大学における臨床心理学の教育および研究の発展に寄与する未発表の学術論文であること。論文の区分は原著論文、展望論文とするが、編集委員会が特に認めた場合は、他の形式の論文を掲載することができる。

2. 投稿資格

論文の筆頭執筆者は、(1) 本学教員（兼任講師を含む）およびその経験者、(2) 本学大学院在学者または修了・中退者、(3) 本学卒業生、(4) 編集委員会が特に認めた者のいずれかとする。

3. 執筆要領

(1) 原稿は原則として、社団法人日本心理学会が刊行する『執筆・投稿の手びき』（2015年改訂版）に準拠する。ただし、電子投稿システムはとらないので、電子投稿に関する規定は本誌には適用しない。『執筆・投稿の手びき』は、日本心理学会のホームページに掲載されており、また、印刷した物を心理教育相談所で閲覧可能である。原稿提出の前に『執筆・投稿の手びき』の巻末に記載された“投稿のためのチェックリスト”を参照し、誤りのないことを確認した上で投稿すること。

(2) 論文情報・著者情報を「添付表」としてつける。

①投稿誌と論文の種類

「原著論文（Original Article）」、「研究資料（Methodological Advancement）」、「研究報告（Research Report）」、「展望論文（Review Article）」のいずれに該当する論文であるかを書く。

各論文種類の定義については、『執筆・投稿の手びき』3.1.1（p.24）、4.1.1（p.49）を参照のこと。

②表題

表題（全角30文字程度）ならびにその英訳。

③欄外略題（Running Head）

日本語で著者の姓を含め25文字（全角）以内。

④英文アブストラクト

論文の概要を100-175語以内にまとめる。日本語訳も書く。

⑤英文キーワード

その論文を特徴づける英語のキーワード3-5項目以内。日本語訳も書く。

⑥「表題ページ」の脚注

謝辞、研究発表、助成、利益相反（COI :Conflict of Interest）、所属機関変更、改姓（名）など著者

情報を含む脚注。

⑦「本文中」の脚注

補足説明のための「本文中」の脚注は必要最小限とし、「表題ページ」の脚注から続く、通し番号をつける。

⑧著者名

日本語とローマ字（英語，原語）。

⑨メールアドレス，電話番号，住所

⑩所属機関名

日本語と英語表記

⑪倫理チェックリスト

「倫理チェックリスト」は、『執筆・投稿の手びき』の巻末に掲載されている（付録5，pp.77-78）。

（3）論文の掲載に際して，特殊な図版，写真等，印刷上特別な費用を要する場合は，著者が負担するものとする。

（4）立教大学臨床心理学研究に掲載する著作物の複製権および公衆送信権を含む著作権は，掲載の時点をもって編集委員会に帰属する。

4. 原稿の提出

（1）ワード形式（.docx）の原稿（コピーを含めて計2部），（2）論文情報・著者情報の2点を，編集事務局（立教大学心理教育相談所）に，別紙スケジュール表にあるその年度の締切日必着で，郵送または手渡しすること。3（2）にある論文情報・著者情報が足りない場合，及び書類に不備があったものは受理しない。

5. 原稿の受理

原稿は、『執筆・投稿の手びき』に則っているか編集事務局にてチェックし，形式が不備の場合には投稿者に修正のために返却する。別紙スケジュール表にあるその年度の第一回編集会議の時点で、『執筆・投稿の手びき』に則っていると判断されたものを受理する。

6. 掲載の採否

（1）編集委員会が指定する査読者が審査し，その報告に基づき編集委員会が決定する。
（2）審査結果に基づき，原稿の修正を求めることがある。ただし審査終了後の加筆修正は認めない。
（3）査読者のコメントに対して、『執筆・投稿の手びき』では，原稿のどこをどのように改稿したかを明確に記述すれば，修正対照表はなくてもかまわないとあるが，『立教大学臨床心理学研究』においては，修正対照表を提出すること（『執筆・投稿の手びき』p.19を参照）。

7. 刊行

（1）投稿された論文は，編集委員会において採択された年の翌年刊行される号において掲載される。
（2）初校は1月に著者に送付される。著者校正は初校のみ行う（『執筆・投稿の手びき』p.21を参照）。